

緩和ケアとターミナルケア 2単位

担当教員：白尾 久美子

病気をもちながらも心身の苦痛を最小限にし、より質の高い生活を送るための緩和ケアのあり方について学ぶ

講義目的・到達目標

緩和ケアとは何かを学ぶ

従来、ターミナルケアは緩和ケアと同義語と考えられていた。最近の緩和ケアは、生命を脅かす病気と診断されたその時から始まる援助としてとらえられている。入院期間の短縮化に伴い、重い病気をかかえながら、多くの人々が在宅や施設で療養生活をおくり、そして死を迎えている。病気をかかえながらも少しでも苦痛が緩和され、より質の高い生活が過ごせるような援助について考える機会とする。

講義の構成

講義の流れ

講義の前に、緩和ケアとは何か、ターミナルケアとは何かについて、グループ討議を通して、自分自身の印象や知識を確認する。

1日目は、緩和ケアの歴史と現状、緩和ケア関連する倫理的課題、緩和ケアの対象となる生命を脅かす病気を患った人びとの心理的、身体的状況について学ぶ。2日目は、ゲスト講義により、ターミナルケアの歴史と現状、大切な人を亡くした家族に対する悲嘆への援助について知識を得る。最後に、講義を通して関心をもったトピックスについて、グループ討議を通して緩和ケアに対する理解を深める。

グループ討議：
1 緩和ケアとターミナルケアに対する印象・知識の確認

2 緩和ケアの歴史と現状

3 緩和ケアに関連する倫理的課題

4 生命を脅かす病気を患った人々の心理的・身体的状況

5 ターミナルケアの歴史と現状

6 家族への悲嘆の援助

グループ討議：
7 緩和ケアとターミナルケアへの理解を深める

8 レポートによる科目最終試験

講義のポイント

緩和ケアおよびターミナルケアは、人の尊厳を守り、大切な生活を守り、よりよく生きるためのケアである。その本質をふまえ、基礎的知識を中心に講義を行う。講義のテーマの性質上、医学的知識が多く含まれるが、身近な問題としてとらえられるように工夫しながら展開する。さらに緩和ケアに関連する、倫理的課題、チームアプローチなども含めながら講義を行う。

受講するにあたって

- ①事前学習のすすめ 事前学習の必要はないが、自身で緩和ケアやターミナルケアについての印象および知識について確認する。
- ②参考図書 特に指定しない。
- ③評価基準 2日間の授業参加およびレポートによって成績評価を行う。レポートは、課題を適切にとらえ、講義のポイントをつまみ、論理的に自身の考えを記述しているかという視点で評価する。
- ④より学びを深めるために 全般的に講義が中心となるため、受け身的にならないよう積極的に参加してほしい。